

七条中学校だより No. 6

～わくわく そして ときどき～

平成 26 年 12 月 19 日
京都市立七条中学校
校長 西村 彰高

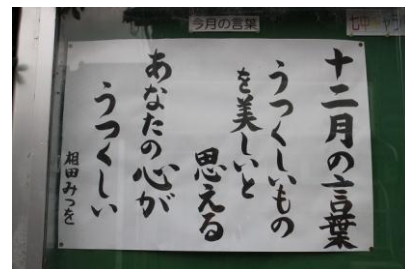
懇談会、ありがとうございます

保護者の皆様には日頃より学校教育にご理解とご協力にいただきまして、有難うございます。また、お忙しい中を懇談会にご来校いただきまして有難うございます。例年になく厳しい寒さですが、22日までおこなっております。これからの皆様もどうぞ暖かい服装でご来校ください。

さて、今月の言葉は写真のとおり、相田みつをさんの「うつくしいものを美しいと思えるあなたの心がうつくしい」を選びました。

忙しい中でも、何かに目を止めて「美しいな」と感じられる心はすてきだと思います。人の行為であっても同じではないでしょうか。12月には「師走」と呼ばれ、1年でも一番忙しいと言われますが、少しでも多く「美しい」と感じられるように過ごしたいものです。

これから、生徒の皆さんのすてきな活動と「美しい」心を紹介します。



「下京ふれ愛ひろば」の活躍から

11月9日に梅小路公園で開催された「下京ふれ愛ひろば」に下京中学校生徒とともに七条中学校の新旧生徒会役員が13名参加し、幼児との遊びのコーナーやリサイクルコーナーのお手伝いをしました。この「下京ふれ愛ひろば」は幅広い世代で下京区の街づくりを考えましょうということをねらって、下京区の人



午後の活動から

い世代で下京区の街づくりを考えましょうということをねらって、下京区の人

づくりネットワーク実行委員会が企画・運営をされています。今年で24回目を迎えました。

初めてブース運営のお手伝いに参加しましたが、「とても積極的に関わってくれました」と担当の方からお褒めの言葉をいただきました。「来年度は中学校でブース運営をお願いします」と

まで言われています。そして、2月28日に下京青少年活動センターで行われます「親と子がともに育む『下京つながりフェスタ』」への参加依頼も来ているほどです。

また、山本下京区長さんの「中学生の思いをぜひ聞いてみたい」という思いから、それぞれの中学校の代表者3名と懇談会をもつことになりました。これは区長室の広さから3名ずつとなりました。

最初にブース運営に関わった感想を尋ねられましたが、「初めはとても緊張してお客さんを呼び込むのが難しかったですが、今後社会に出て役立つような良い経験ができたと思います。今度やるときは、今回の経験を活かしてもっと大きな声を出して、たくさんのお客さんを呼び込みたいと思います。」としっかりと述べていました。

その後も中学生にいくつかの意見を聞かれていました。詳しいことは市民しんぶん「下京のひびき」1月15日号に掲載されますので、どうぞご一読ください。

七条中学校を代表した3名は、本当に素晴らしい受け答えをしていました。とても嬉しく思いました。



総合防災学習から

11月28日午後に七条中学校学校運営協議会が主催して全学年で「総合防災学習」をおこないました。翌日の京都新聞朝刊にも掲載されましたが、こちらも市民しんぶん「下京のひびき」1月15日号に掲載されます。

1年生は消火訓練や救助訓練、地震体験、煙中体験そして防災活動研修をクラス単位で学びました。2年生は普通救命講習(心肺蘇生法やAEDの取り扱い)の実習をおこないました。3年生は避難所運営の仕組み等を実習を交えながら学びました。



1年生の学習から



2年生の学習から

この学習は学校だけでできるものではありません。各行政機関や消防分団の皆様のご協力を得て実施することができるものです。ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

中学生が災害に関する知識や地域の防災活動について理解するとともに、危険に際して自らの命を守り抜くため「主体的に行動する態度」を育成することと災害が起こった時に生徒自身が復旧や復興を支える「支援者」として貢献できるようにすることをねらって実施しました。何年かは続けて学習していきたいと考えております。今後ともご協力いただきますようによりしくお願いいたします。

学習した生徒の感想から6名の感想を紹介します。

- ・小学校の頃の防災学習では机に隠れて体を守ることしかやっていなかったけど、今日中学校で人を助ける方法とか人を運ぶ方法とか、いろいろ体験できて良かった。(1年)
- ・自然災害は避けようのないもので、怖いものだということを痛感しました。だから、常に災害に備えられるように確認を怠らないようにしたり、防災訓練に積極的に参加したりして、日頃から災害と向き合っていきたいと思います。(1年)
- ・最後のビデオで、私たちと同じくらいの人々が死んでいることを知り少しショックでした。全て突然のことなので、いつ誰が起こってもおかしくない状況です。一人でも死者を出さないために自分にできることを少しでもやり、周りの人にも協力してもらい、学んだことを活かせるといいなと思いました。(2年)



3年生の学習から

- ・私は今日初めて「AED」を使ったり、「胸骨圧迫」を体験したりしました。ドラマでの映像は見たことはあったけど、実際にどんな状況の時に使えばよいのかあいまいな部分もあったので、今回教えていただいてよくわかりました。もし、「AED」や「胸骨圧迫」をしなければならない状況に出会ってしまった時は、見ているだけでなく「勇気」をもって自分からやって、その人の「命」が助かるまで頑張りたいと思いました。(2年)
- ・トイレの組み立て等、普段見られないような光景を見ることができたので、とても良かった。非常食のご飯もとてもすごいと思った。今後、関西地方にも大きな地震が来ると言われているので、今回のことを活かして今のうちに準備などをしていきたい。(3年)
- ・今日例えに出てきていたようなシチュエーションと同じことが自分の周り(近く)で起きたと考えると、私は迷ってしまっただけで周りの人の邪魔になってしまいそうです。でも、今日学んだ知識から、「助けてもらう」だけでなく、「役に立つよう、助けられるよう」にしたいです。(3年)

「何かできる人に」そして「誰かのために」という意識が強くなっていることが嬉しいです。

※ 七条中学校のホームページにも記事と写真を載せておりますので、そちらもご覧いただけると幸いです。